**幼児礼拝8月①**

**聖書①：世界の始まり（天地創造）**

今日は聖書の「天地創造」というお話をしたいと思います。

はじめに、みんなは「聖書」ってきいたことがありますか？聖書はとっても分厚い本で、字がびっしり入っていて、読むのがとっても大変な本です。

でも、世界中の人が、この聖書を大切にしています。なぜなら、聖書には、神様のことが書いてあるからです。神様は目に見えません。声も聞こえません。だから、この聖書で、神様のことをたくさん勉強するのです。

今日は聖書の、一番はじめに書いてある、「天地創造」というお話をしたいと思います。

天地という言葉は、空と大地という意味です。

創造というのは、何かをつくること、の意味です。この空と大地は誰がつくったと思いますか？そう、神様です。神様がつくったのは、空と大地だけではありません。植物や、動物、そして人間も全部、神様がつくりました。聖書には、神様は6日間でこの世界を全部つくったと書いてあります。

今日は、神様が何を創ったのか、というお話をしたいと思います。

まず1日目です。

神様は一番最初に、光を作りました。神様は「光あれ」と言いました。すると、まっくらやみからピカッと光ができました。この光を見て神様はとっても喜ばれました。もし光がなかったらみんなはどうなるかな？私たちは、まっくらでは生きることができないよね。

神様が光を創ってくださって本当に良かったですね。

二日目になりました。

神様は空気と水を創りました。空気はみんなが吸ったり吐いたりしているよね。空気がなかったらみんなはどうなるかな？生きられないよね。お水もみんな、毎日、飲むよね。

お水を飲まなかったらみんなはどうなるかな？生きられないよね。人間だけじゃありません。動物も植物も、全部、水と空気がないと生きていくことができません。神様は、お花や動物、そして、みんなのために空気と水をつくってくれたんだね。

三日目になりました。

三日目に、神様は陸と海を創りました。陸というのはみんなが住んでいるところだね。

陸にはみんなが住むためのものがたくさんあります。神様は陸に、草や木、花を創りました。お外にでると、私たちの周りには、みどり色の草や大きな木、きれいなお花がたくさんあります。お花はみるのも楽しいし、匂いを嗅ぐのも楽しいよね。神様はみんなが楽しめるように草や木、花を創ってくれました。

四日目に、神様はもういちど「光となれ」と言われました。

宇宙に太陽と月と星を創られたのです。太陽はとってもあったかいですよね。夜になると月や星がとても綺麗ですね。これらも、ぜんぶ神様が創ってくださいました。

五日目です。

神様は、海の獣と川や海の魚、そして空を飛ぶ鳥たちを創られました。海の獣とは大きなくじらやアシカ、オットセイ、アザラシなどです。そして、川の魚たち、また、空を飛ぶ鳥たちも創られました。チュンチュンとなくスズメ。カーカーとなくカラス。私たちの周りには、とってもたくさんの鳥たちがいるよね。ぜんぶ、ぜんぶ神様がつくったのです。

六日目になりました。

六日目は、犬や猫、ゾウ、ライオンなどの動物を創りました。

みんなの好きな動物はなんですか？先生はパンダが好きです。かわいいですね。

そして、いちばん最後に神様は、人間をつくりました。

神様は、人間を、神様に似せて、神様とおなじように創りました。神様は目に見えないけれど、もし見えるなら、みんなと同じ足や手があるんだね。

そして、神様はご自身が創ったもの全部をみて、「とても良かった」と喜びました。

神様はみんなを喜ばせるためにたくさんのものを創ってくれたんだね。みんなも神様が創ってくれたものを大切にして、ありがとうございますの気持ちで毎日過ごしていきましょう。